

第137回経営協議会議事概要

日 時 令和6年6月20日（木）15時30分～17時04分
場 所 本部棟特別会議室
出席者 和田隆志（議長）森本章治，塩川達大，山岸雅子，飯山宏一，山本卓，
松本宏一，堀修，有松育子，河田悌一，里見進，武田泉穂，徳田博
（以下，Webによる出席者）
吉崎智一，後藤ひとみ，原田明久，渡辺芳人
欠席者 大橋徹二，新保博之，山内雅喜
ワザバー 浅野哲夫，村本健一郎
陪席者 中村慎一，三浦要，谷内江昭宏，中沢正隆

1 前回議事確認

第136回経営協議会 5月16日（木）開催

2 意見交換

能登里山里海未来創造センター長から，資料1に基づき，金沢大学における能登復興支援の構想と取組について説明があり，意見交換を行った。

[委員からの主な意見]

- かなり長期間にわたる取組になる。予算要求についてはいろいろなものを使っていくとよい。
- 国からの基金が石川県に措置されたので、復興に向けて県と金沢大学が連携を進めていくのがよい。

3 協 議

(1) 令和7年度概算要求（案）

総務・財務・施設担当理事から，資料2に基づき，令和7年度概算要求（案）について説明があり，審議の結果，承認された。

(2) 令和5事業年度財務諸表（案）

総務・財務・施設担当理事から，資料3-1～3-5に基づき，令和5事業年度財務諸表（案）について説明があり，審議の結果，承認された。

[委員からの主な意見]

- 予算を増やしている他の大学は、共同研究経費や特許収入を増やしている。金沢大学もそういうところに力を入れていく必要がある。
- 支出を抑え，捻出された分をどこに充てるかということも重要である。
- 地方は産学連携の規模が限られている。首都圏で産学連携を広げてほしい。
- 産学連携の単価を上げていくことを意識していくとよい。

4 報 告

(1) 令和5年度金沢大学資金運用実績報告

総務・財務・施設担当理事から、資料4に基づき、令和5年度金沢大学資金運用実績報告について報告があった。

(2) 長期借入金の償還の実施状況

総務・財務・施設担当理事から、資料5に基づき、長期借入金の償還の実施状況について報告があった。

(3) 令和5年度診療稼働額等実績報告

附属病院・同窓会・大学基金担当理事から、資料6に基づき、令和5年度診療稼働額等実績について報告があった。

(4) 令和5年度研究関係等外部資金獲得状況

研究・社会共創・大学院支援担当理事から、資料7に基づき、令和5年度研究関係等外部資金獲得状況について報告があった。

(5) 令和5年度特許等実施契約状況

研究・社会共創・大学院支援担当理事から、資料8に基づき、令和5年度特許等実施契約状況について報告があった。

[委員からの主な意見]

- 特許ひとつひとつの質を上げていくことが必要である。

4 その他

(1) 「国立大学協会声明 ー我が国の輝ける未来のためにー」の発表

議長から、資料9に基づき、「国立大学協会声明 ー我が国の輝ける未来のためにー」について説明があった。

(以下、説明を省略)

(2) 令和6年度金沢大学ステークホルダー協議会の開催 (資料10)

(3) 令和5年度における経営協議会学外委員からの意見への取組状況 (資料11)

<次回開催予定>

第138回経営協議会 日時：令和6年10月17日(木) 13時30分から